

令和 11 年度愛媛大学教育学部入学者選抜に関する予告

教育学部の令和 11 年度入学者選抜では、以下のとおり、新たな選抜として学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）を実施します。これは現時点での内容であり、今後変更される可能性もあります。

詳細については、今後発表する令和 11 年度入学者選抜要項（令和 10 年 6 月中旬公表予定）、学生募集要項（令和 10 年 6 月下旬以降順次公表予定）等で確認してください。

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）

（1）選抜の趣旨

本選抜は、愛媛県で教職に就き、高度専門職として地域創生に貢献する者を育成することを目的としています。

本選抜に合格し入学する学生は、教育発達実践コース（特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース）又は初等中等教科コースの所属となります。また、高等学校の課程において、教育に関する科目や教育プログラム等の経験で得た知見を入学後に発揮し、特に実習においては同学年の学生を牽引する役割を担います。また、課題研究において、高等学校段階の探究活動を発展させ、より質の高い成果を示すことが期待されます。

さらに、教職大学院への進学を前提とするため、基本的な実践的指導力に加え、教職大学院で培った課題研究や実習の成果を生かし、赴任先で教育研究開発や研究推進のリーダーとして地域創生に貢献する人材を育成します。

（2）募集人員

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）の募集人員は、10 人です。

（3）出願要件

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）の出願要件を次のとおりとします。

- ①高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和 11 年 3 月卒業見込みの者
- ②学習成績及び人物が優秀な者
- ③合格した場合は入学を確約できる者
- ④本学教職大学院へ進学する強い意志を有する者
- ⑤本学教職大学院修了後、愛媛県で教職に就き、地域創生に貢献する強い意志を有する者
- ⑥教職や教育に関する高大連携事業へ参加した経歴のある者又は児童生徒と関わるボランティアへ参加した経歴のある者

以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの

- （1）高等学校の課程において、教育に関する科目を 4 単位以上修得又は修得見込みの者
- （2）高等学校の課程において、教育に関する科目を 3 単位修得又は修得見込みで、大学や教育委員会が開催する教員養成に関する高等学校の課程の生徒対象の教育プログラム等を受講し、次のいずれかに該当する者
 - ア 15 時間以上の 1 つの教育プログラム等を受講し、修了又は修了見込みの者
 - イ 複数の教育プログラム等を合計 15 時間以上受講済みの者

ただし、推薦できる者は、1 学校につき 10 人以内とする。

※（1）、（2）について、教育に関する科目とは、教育をテーマにした学校設定科目、総合的な探究の時間及び課外実習等である。

※出願要件（２）アに該当する者で、修了したものは修了証明書等、修了したことが証明できる書類を提出すること。

※出願要件（２）アに該当する者で、修了見込みのものは、修了後速やかに修了証明書等、修了したことが証明できる書類を提出すること。

※出願要件（２）イに該当する者は受講証明書等、受講したことが証明できる書類を提出すること。

（４）大学入学共通テストの利用教科・科目

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）では、大学入学共通テストの利用教科・科目を次のとおりとします。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
国語	『国語』	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①	『数学Ⅰ、数学Ⅱ』、『数学Ⅰ』
	②	『数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』（注１参照）	
情報	『情報Ⅰ』	
2教科3科目又は3教科3科目		
◆計4科目以上を受験している場合は、高得点3科目を採用する。 ただし、「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合、第2解答科目のみの採用は行わない。なお、「理科」についても同様とする。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。		

注１ 大学入学共通テストの「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注２ ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注３ ◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

（５）個別学力検査等出題教科・科目等

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）の個別学力検査等出題教科・科目等を、次のとおりとします。

面接、

出願書類（推薦書、調査書、調書、活動報告書）

※活動報告書には、教職や教育に関する高大連携事業への参加歴や児童生徒と関わるボランティア参加歴等を記載すること。履修証明書等を提出すること。

(6) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数学		理科	外国 語	情報	計	面接	出願 書類	計
			①	②						推薦書 調査書 調査書 活動報告書	
(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100) 又は (200)	(100)	(100)	300	200	100	300

注1 () は、選択科目の配点を示します。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80 点	20 点	100 点	リーディングを 100 点とする。

(7) 入学後の履修について

学校推薦型選抜Ⅱ（教員養成特別選考）に合格し入学した者は、「教職大学院進学特別プログラム」の履修を必修とします。「教職大学院進学特別プログラム」は、1～3年次の学部科目群では、愛媛県及び各市町教育委員会との連携協働により、愛媛県内の学校教育に対する関心と理解を高める学習活動を予定しています。4年次に科目等履修生登録によって履修する教職大学院科目群（※）では、教職大学院生や地域の現職教員と共に、教育相談、教育福祉、特別支援、地域連携、ICT教育等の教職大学院の基礎科目を履修します。プログラムの目的・概要は、後日、愛媛大学教育学部ホームページに掲載します。

※大学院科目群を8単位以上取得し、教員採用試験に合格することにより、教職大学院1年修了プログラムの履修が認められます。